

# 疫学Ⅱ

選 択

開講年次：4年次後期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：疫学の基礎的知識を定着させ、公衆衛生看護への適用を検討する力を身につけます。さらに保健活動評価や研究活動などの実践に向けた疫学調査の方法を学びます。

- 到達目標**：①疫学調査の方法が説明できる  
②疫学研究の妥当性と限界を考えることができる  
③疫学調査計画を立案できる

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎喜多 歳子

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション・疫学調査の概要（目的・方法・倫理）  
第 2 回 疫学データの読み方（リスク・因果関係・曝露評価・妥当性と信頼性）  
第 3 回 疫学調査の方法（バイアス・交絡・研究デザイン）  
第 4 回 疫学データの読み方（検定と推計）・小テスト  
第 5 回 疾病の疫学（スクリーニング・感染症）  
第 6 回 疾病の疫学（母子保健、生活習慣病、保健行動）  
第 7 回 疫学と公衆衛生看護・小テスト

■**教科書**：『標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学』（医学書院）2015年

■**参考文献**：『基礎から学ぶ楽しい疫学 第3版』中村好一著（医学書院）2013年  
『健康の社会的決定要因 疾患・状態別「健康格差」レビュー』近藤克則編著（日本公衆衛生協会）平成25年

■**成績評価基準と方法**：授業への参加状況と課題レポートで評価する。詳細な評価基準は講義内で説明する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
小テスト	◎	◎			50点
レポート	○	○	◎	知識の応用	50点

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：疫学Ⅰ、公衆衛生学、保健統計、看護情報学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護援助論Ⅱ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：レポート作成には、疫学を基礎とした知識が必要になります。授業への積極的な参加を期待します。